

たつおか

第24号

発行人 北沢小太郎
編集人 情報部 鹽沢稔
印刷所 龍共印刷株式会社
発行所 竜丘村公民館

学校水道工事進む

久し振りの本村学校水道工事、水質、水量、財政等につきより研究協議を重ねて具体的な工事施行は八月の村議会決つた。特に水質改善に關して、土木委員長前島秀三氏、副委員長平野一氏、を説き水質の改善は堤防と決定し、一応三問題で定めてある。

時一〇〇管で集水配水管で送水し途中二時の白管を配水管で約九〇〇メートル送水し、中学校(約二ヶ所)教員住宅公民館等に逐次給水する。

九月上旬水源地開掘開始現在約二十五間掘り、水量は毎秒〇・四リットル流れております。

パイプの大部分は東京からすでに到着している。

配管工事は十月上旬乃至中旬で附帯工事(下水道給水場等の工事)を含めると完成は十一月上旬の予定です。

工事の内貯水池配水工事等は専門家に請渡して材料運搬、パイプの掘り埋作業等は村内各戸(一戸一〇メートル、四〇メートルは三

毎分25立湧水する

予定量は相馬堤に掘りつて毎秒二リットル最低流量は毎秒〇・三乃至〇・五リットル延長一三〇〇メートル、四〇メートルは三

農民の地位を向上する

農業委員会

第十四回に於て政府提案の農業委員会法案が衆議院に於ける一部修正に依り、参議院に送付されて可決法律第八十八号として公布、即日実施される事になりました。此の事は周知の通りであります。此の法案は本法の目的を達成し、農民の地位を向上する事に基づいて、農業生産力の増進と農業経営の合理化を促進し、農民の地位の向上を図る事が不可欠であつて、その為め種々の方法を講じなければならぬのであるが、幾多の問題解決の爲めには、先づ農民の積極的な意志と自主的な活動に待たなければならぬのであつて、これが根本をなすものは農業政策を農民から導くものとし、都道府県或は市町村等地方自治体が行ふ施策を農民の希望するものと一致せしめる為め農民の声を直接これら地方自治体の行政機関を通じて反映せしめる為め、民主的

家屋評価を終つて

地方税の改正に伴つて家屋の評価も従つて期待して居る。各村民の発表は、旧家賃価格との比較はどうか、固定資産再評価の中で一番問題の多いと見られて居る家屋の価値を如何に評価するに關して、公正な評価に期待して居る。公正な評価に期待して居る。公正な評価に期待して居る。

九月十四日大田町の役場に於て、家屋評価の再評価に關して、各村民の発表は、旧家賃価格との比較はどうか、固定資産再評価の中で一番問題の多いと見られて居る家屋の価値を如何に評価するに關して、公正な評価に期待して居る。公正な評価に期待して居る。

補助員は語る

分利用されて居ない。(D) 資力と地力等に未だ合理的なものや理想的なものが無い。(E) どうも長い間苦労して居るが、牛が育つて居るには驚いたがそれだけ農業経営の中で奮闘が盛んになつたと想つた。

(A) 昔小作の為に必要だつた大きな家屋が今ではすっかり物置や納屋に成つて、農地改革の影響がはっきり現れて居る。

(B) 部落的に見ての良否は大体どんな風ですか。

(C) どの上川路、桐林、長原の各一部分が特に良い。悪いのは御承知の通りだ。

(D) 時々は土地の關係で下層作りが多い、だが狭い地を仲々合理的に利用して居る事を感じた。

(E) 畜舎等の建物の時期と、構造がどの部落も非常に共通だと思つた。

新聞が結ぶ人の和世界の和



九月二十九日老人の日に表彰された長壽者(満九十以上)は次の通り。

氏名	年齢	前頭	氏名	年齢	前頭
横綱 山田 九三	(政四郎母)	長今村 八二	長今村 八二	(長徳祖母)	原一 八二
大関 山田 九〇	(齊母)	長今村 八一	長今村 八一	(正文父)	廣美 八二
関脇 山田 九〇	(義一母)	桐原 八〇	桐原 八〇	(忠徳祖母)	信実 八二
前頭 山田 八六	(善吉母)	伊藤 八〇	伊藤 八〇	(類雄母)	重吉 八二
前頭 山田 八五	(貞一母)	下平 八〇	下平 八〇	(政次祖母)	林 八二
前頭 山田 八四	(理祖母)	長宮 八〇	長宮 八〇	(政次祖母)	林 八二
前頭 山田 八四	(逸父)	松坂 八〇	松坂 八〇	(義雄母)	林 八二
前頭 山田 八三	(善一父)	上木 八〇	上木 八〇	(逸母)	林 八二
前頭 山田 八三	(恒三父)	下平 八〇	下平 八〇	(真太郎母)	林 八二
前頭 山田 八三	(光母)	上杉 八〇	上杉 八〇	(類雄母)	林 八二
前頭 山田 八三	(光母)	上塚 八〇	上塚 八〇	(類雄母)	林 八二

記録映畫具体化

早急に記録映畫の撮影を開始すべく村内各機関の代表者が去る十月一日製作委員会を組織、委員長岡村賢作氏、副委員長伊原春男氏、北沢小太郎氏を選出十月十日学校水道工事より撮影を開始する事となつた。

撮影には天龍映の佐藤写真屋があたり、郡公民館所有の優秀な二六フィルム映畫機を使用し、近代に遺す村の現況、文化、風景を撮影する。

フィルムは長さ八〇〇フィート、上映時間約二巻を二巻におさまる来月十月上旬目標に五〇、〇〇〇円の予算を以て製作する。

長壽者表彰

九月二十九日老人の日に表彰された長壽者(満九十以上)は次の通り。

固定資産評価

審査委員三名決定
本村では家屋評価事務の進行に伴い、規定に依る審査委員を決定した。

岡島 広三 (駄科)
林 信雄 (桐林)
塩沢盛太郎 (長野原)

決定の方法は村長推薦を村会が承認したもの、尙委員は十月十日に開催の第二期三年の三種別抽せんである。

審査委員の任務は前号でも報じた通り評価委員会の評価に對して村民から再審査請求があつた場合の苦情処理機關を務める。

龍峽分校の対策
委員会開催
臨時独立分校として多くの期待のうちに出発した天龍映の下伊原農高龍峽分校は、現在生徒在籍三十八名、県教育委員会は八十名以下の生徒で構成されたも取沙汰されて居るので川路、龍江、千代、竜丘の四ヶ村各村二名宛の対策委員会を村議より選任した。本村では村議会教育委員長前島秀三、公民館長北沢小太郎の両氏出席、会議は九月七日、二十七日の両日に亘つて開催、本村に在籍生徒は現在在籍在校、県下多くの定時制高校分校が教育法改正混乱の中に設置されたといつても可なりあり、在校生の多い本村並に關係の態度が注目されて居る。

空襲に注意

このごろ各地に空襲らしい。かつぱら。交通事故などが発生して居ります。

又農務期になると家族全員農務に出で留守になりがちです。この事に注意して下さい。

1、留守居を置くか近所と打合せて見張りをして下さい。

2、家や土蔵の戸締りを確実にすること。

3、屋外に、物品を放置しないこと。

4、子供を道路で遊ばないこと。

5、おしりなどで困る時は、駐在所へ知らせること。

6、被害にかつたら現場をそのまゝにして小さき事でも早く駐在所へ知らせること。

駐在所の電話は、二十五番です。

新聞が結ぶ人の和世界の和

九月二十九日老人の日に表彰された長壽者(満九十以上)は次の通り。

氏名	年齢	前頭	氏名	年齢	前頭
横綱 山田 九三	(政四郎母)	長今村 八二	長今村 八二	(長徳祖母)	原一 八二
大関 山田 九〇	(齊母)	長今村 八一	長今村 八一	(正文父)	廣美 八二
関脇 山田 九〇	(義一母)	桐原 八〇	桐原 八〇	(忠徳祖母)	信実 八二
前頭 山田 八六	(善吉母)	伊藤 八〇	伊藤 八〇	(類雄母)	重吉 八二
前頭 山田 八五	(貞一母)	下平 八〇	下平 八〇	(政次祖母)	林 八二
前頭 山田 八四	(理祖母)	長宮 八〇	長宮 八〇	(政次祖母)	林 八二
前頭 山田 八四	(逸父)	松坂 八〇	松坂 八〇	(義雄母)	林 八二
前頭 山田 八三	(善一父)	上木 八〇	上木 八〇	(逸母)	林 八二
前頭 山田 八三	(恒三父)	下平 八〇	下平 八〇	(真太郎母)	林 八二
前頭 山田 八三	(光母)	上杉 八〇	上杉 八〇	(類雄母)	林 八二
前頭 山田 八三	(光母)	上塚 八〇	上塚 八〇	(類雄母)	林 八二

西の方

長壽番附御免蒙
行司 情報部
勸進元 役場
昭和廿六年九月十五日現在

氏名	年齢	前頭	氏名	年齢	前頭
横綱 山田 九三	(政四郎母)	長今村 八二	長今村 八二	(長徳祖母)	原一 八二
大関 山田 九〇	(齊母)	長今村 八一	長今村 八一	(正文父)	廣美 八二
関脇 山田 九〇	(義一母)	桐原 八〇	桐原 八〇	(忠徳祖母)	信実 八二
前頭 山田 八六	(善吉母)	伊藤 八〇	伊藤 八〇	(類雄母)	重吉 八二
前頭 山田 八五	(貞一母)	下平 八〇	下平 八〇	(政次祖母)	林 八二
前頭 山田 八四	(理祖母)	長宮 八〇	長宮 八〇	(政次祖母)	林 八二
前頭 山田 八四	(逸父)	松坂 八〇	松坂 八〇	(義雄母)	林 八二
前頭 山田 八三	(善一父)	上木 八〇	上木 八〇	(逸母)	林 八二
前頭 山田 八三	(恒三父)	下平 八〇	下平 八〇	(真太郎母)	林 八二
前頭 山田 八三	(光母)	上杉 八〇	上杉 八〇	(類雄母)	林 八二
前頭 山田 八三	(光母)	上塚 八〇	上塚 八〇	(類雄母)	林 八二

